

# パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2018年10月1日 181号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## アスンシオン国立大学と養殖研究の協力協定書調印



マグノ教授も同席

左より、V.Rios学科長、C.R.C. Cardozo副学部長、E.N. Gruner学部長、中田実理事長、佐野道准副理事長、中井重幸事務局長。



マグノ教授(中央)、学科長とミーティング。

**養殖研究協力のさらなる推進に向けて！**

八月十七日、アスンシオン国立大学農牧獣医学部の学部長事務所において、同学部と南北米福地開発財団(レダプロジェクト)のパラグアイ法人との間で、養殖研究協力協定の調印式が行われました。協定書には、五つの目的が記されています。

一、両者が共通に関心を持つプロジェクトにおける情報の交換 二、両者が関心を持つ研究や調査において獣医学部の教授や学生の参加の計画 三、両者が違った場所において共通に確認した研究や調査の認証 四、調査やその展開に対する研究、技術、プロジェクトの計画と実行 五、人材の教育と育成

二〇一一年、マグノ教授が初めてパクーの稚魚をレダ基地に持ってきてくれた以来、同学部は繰り返しマグノ教授をレダ基地に派遣し、パクー養殖の指導をしてきました。そしてレダ基地スタッフは寝食を忘れて実践に取り組み、創意工夫を重ね、人工孵化の成功に至りました。また毎年共同でパクー稚魚を放流するとともに、放流魚に識別番号のタグを打って、その生態調査を進めました。このようにして、大学と実地の現場における、熱意に満ちた相互信頼に基づく協力関係が、同学部とレダ基地の間には築かれてきました。

「今年初めから私たちがエビ養殖のプロジェクトに取り組みようになったことがさらなる契機となつて、マグノ教授がとても乗り気になり、協約を結ぶことに情熱を見せ始めました。彼が協力協定の推進役として立ったのです。おそらく私たちが韓国の鮮文大学と協約を結んで具体的にエビ養殖の研究を進め始めたということが刺激になったのだと思います。こうしたマグノ教授の尽力があつて、今回の調印に至りました。今年になって入退院を繰り返し返していた学科長も、今は『全快しました。もうすっかり元気ですよ!』と言っていたので、そういうことも今回調印に至った大きな要素です。それ故、調印式後、養殖学科の会議室でさっそく具体的なプロジェクトについてミーティングを持ちました。(上の小さい写真)(佐野道准氏報告)」

「学部長は北海道で牧畜を学び、養殖学科長は下関で養殖を学んでいて、日本に対しても強い関心があります。(伊達勝見氏報告)」皆様、ぜひ応援を！



## 第18回国際協力青年奉仕隊レポート（前編）

【8月28日】現地時間8月27日、23時半過ぎに、パラグアイの首都アスンシオンに到着しました。その後ホテルに向かい、



アスンシオンでの朝食。8月28日

夜はそのまま休みました。28日8時半から佐野先生を中心に朝礼を行い、今後の日程や現地の青年との顔合わせをする時間を持ちました。昼食を食べ、これからロマ・プラタに移動します。到着予定時刻は20時半頃です。

【8月29日】昨晩21時

過ぎ、ロマ・プラタに到着しました。今朝8時から移動し、ロマ・プラタを観光しました。朝礼の時間に佐野先生がロマ・プラタについて多少説明してくださいましたが、現地の方にロマ・プラタの歴史やメノナイトの精神について話していただき、より深く知る時間となりました。開拓当時の写真や、使っていた道具等が残る博物館を見学し、皆自由に写真を撮って楽しみました。パラグアイ内で有名なミルク工場も見学し、製造プロセスも見せてくださいました。そのブランドのヨーグルトをくださり、皆で美味しくいただきました。午後はダンスと歌の練習をしまし



佐野先生を中心に朝礼。8月28日



ロマ・プラタ開拓史博物館 8月29日

た。2組に分かれて見せ合い、良かった点を言い合っ



活動地トロパンパに到着。8月30日

た。2組に分かれて見せ合い、良かった点を言い合っ



同じくトロパンパに到着。

【8月30日】朝ロマ・プラタを出て、昼過ぎにトロパンパに着きました。道中は砂埃が酷く、舗装もされていないため厳しいものでしたが、野生動物を車窓のごく近くから見ることができました。私たちが学校に着いてからボールで遊んでいると、子どもたちがだんだん集まってきました。はじめ数人で蹴っているだけだったのが、いつの間にか人数が増え、チームに分かれてサッカーをしていました。言葉が通じない中でも子どもたちのエネルギーは凄まじく、半ば引張られるようにして夕食まで目一杯遊びました。正式な歓迎会に先駆け、子どもたちが歓迎

奉仕活動が始まります。レダからの2人も合流し、全員揃ったので改めて気を引き締めて頑張ります。【8月31日～9月1日】本格的に奉仕活動が始まりました。作業内容として、公園のペンキ塗り・公園内の植樹を主に行いました。壁にペンキを塗



トロパンパでの歓迎式。8月31日



始めは慣れないペンキ塗り。8月31日



思いをこめて木を植える。9月1日



大人気、折り紙教室。8月31日

る作業はほとんどの人が初めてでしたが、岩澤先生の指導の下、丁寧に塗っていきま



公園にタイヤを埋めて塗装。8月31日

ださ





美しく仕上がった公園の前で、子どもたちと。9月3日

乾いてなくて泥だらけだったので、裸足で歩き、壁を塗りました。最後に公園の看板を作り、組み木に色を塗って作業を終えました。作業後は送別会を催してくださり、生徒たちと私たちが、歌やダンスを披露していました。15時前にトロパンパを発ちましたが、見送りでは何人もの子どもたちが泣いて、別れを惜しみながらレダに向かいました。再び未舗装の道路を走って、17時過ぎにレダに着。先生方と顔合わせをして休みました。



私の新しい妹たちです。9月3日



Aiwa公園と書いてある。9月3日



斧を握る手にマメができる。9月5日



手綱を手に、大丈夫？ 9月5日

講話の時間となり、ご自身の体験を話されながら、文先生ご夫妻との歩みを語ってくださいました。【9月5日】きょうは、開拓体験としてヤシの伐採、乗馬、タロイモ掘り。はじめに、南米におけるプロジェクトについて佐野先生から講話をしていただいたから、体験学習に出発しました。その一番目の開拓体験は、初心者でも切りやすいというヤシの木の伐採。ところがヤシの木は予想以上に固く、手にマメを作った人が続出しました。午後の乗馬体験では、現地の牧童の方々が簡単に指導してくださいました。

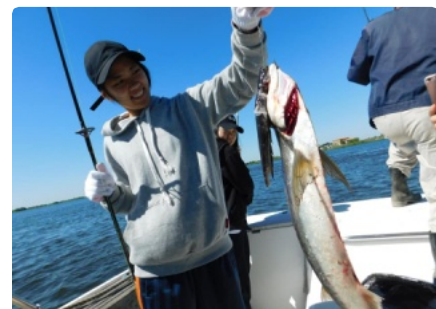


レダ公館を訪問。9月4日

【9月4日】レダ1日目は、まず佐野先生によるレダ開拓についての講話、午後に諸施設の見学、夜に上山先生による講話です。佐野先生は具体的にとどのような開拓をしてきたかを語られ、幅広い分野で食糧問題解決の為に尽力してきたことを教えてくださいました。午後の見学は、公館、グストハウス、養殖場、農作物の畑、養豚場等を回り、様々な活動現場を自分の眼で見ました。実際にパクーや豚に餌をやる機会もありました。夕食後は上山先生の講話を話されながら、ご自身の体験を話されながら、文先生ご夫妻との歩みを語ってくださいました。



泥にまみれて掘り出す。9月5日



カシヨーロが釣れた！9月6日



パクーを網で囲い込む。9月6日

さの池に網を持って入って行きました。1回目はやり方も分からないままに入ったので、魚が逃げに逃げ、全く獲れませんでした。2回目に入った時には反省を生かし、目標の70匹を無事に達成しました。獲ったパクーは、労働者の方々に教わりながら、皆で包丁を手に捌きました。夜に岩澤先生の体験談を聴き、一日を終えました。(後編は本紙次号で)

釣りとパクーの収穫です。文先生が使われた船に乗せていただき、釣りの手ほどきを受けながら、午前中一杯、川の上にいきました。釣れたのは、カシヨーロやパクー、ピラニア等で、全体で27匹の魚を釣り上げました。午後は養殖池に入ってパクーの収穫体験です。ライフジャケットを着て足が立たない深さの池に網を持って入って行きました。1回目はやり方も分からないままに入ったので、魚が逃げに逃げ、全く獲れませんでした。2回目に入った時には反省を生かし、目標の70匹を無事に達成しました。獲ったパクーは、労働者の方々に教わりながら、皆で包丁を手に捌きました。夜に岩澤先生の体験談を聴き、一日を終えました。(後編は本紙次号で)

ほとんどの隊員が馬に乗るのは初めてだったという中、馬を走らせる人もいました。タロイモ水田は想像より深く、ずぶずぶと足を沈ませながら一生懸命掘りました。泥に足を取られ転びかけ、泥だらけになりつつも、頑張った皆さんのタロイモを収穫できました。夜は豊村先生が、大学時代のお話から始まり、レダ開拓についてまで語ってくださいました。【9月6日】6日の朝の学習会は、レダの先生方と共に4時から行いました。この日のプログラムは魚



## 第十八回一日特別研修会(案内)

本年最後のパンタナール一日特別研修会(ワンデ  
イセミナー)を、左記の要領で開催します。会場は、  
先回と同じセンター棟です。

日時…十二月一日(土) 十時受付、五時終了予定

会場…国立オリンピック記念青少年総合センター、  
センター棟四階四〇二室(小田急線参宮橋駅徒歩七分  
または渋谷駅西口40番乗場バス代々木五丁目下車)  
参加費…二〇〇〇円(昼食を含む) 当日受付にて



国立オリンピック記念青少年総合センター

参加を希望される方は、フアッ  
クスまたはメールで、下記の当  
法人事務局宛てお申し込みくだ  
さい。(応募用紙の請求も同事  
務局へ)  
共催…一般社団法人 南北米福  
地開発協会、NPO法人 地球  
の緑を守る会

### プログラム(予定)

- 「レバランド・ムーンの思想  
とレダ開発」講師…柴沼邦彦  
当法人理事
- 「レダと日本における植樹活  
動」講師…高津啓洋 NPO法  
人地球の緑を守る会代表理事
- レポーター…レダ基地で活動  
し、最近帰国した人、数名

## COOL CHOICE 検索

### 2100年未来の天気予報

今年の夏は、とても過ごしにくい夏でした。  
全国各地で多くの人々が熱中症で病院に搬送さ  
れ、中には亡くなった方もいました。皆様は元  
気にお過ごしになったでしょうか?そして発生・  
襲来した台風の多さも記録的。日本列島だけを  
見ても、多大な災害に見舞われました。  
こんな夏、環境省の作成した「2100年未  
来の天気予報」という動画が、COOL CHOICE ウェ  
ブサイトで公開され、注目を集めました。気象



予報士の藤森涼子さんが登場し、未来のある夏の日  
の天気予報を伝えるというものです。時間は2分59  
秒。学校や各種セミナー、  
勉強会などで活用でき  
そうです。以下、その  
一部をご紹介します。

による川の氾濫や、がけ崩れなどが、各地で発生し  
ています。また、大雨となつていいる地域がある一方、  
全く雨が降らず、農作物が枯れるという被害が発生  
しているところがあります。「日本の南海上には、  
猛烈な台風10号があります。中心気圧は・・・」

環境省ウェブサイトより: <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/topics/20180820-01.html>

この暑さの影響で、きよ  
うまでに、全国で12万  
人が熱中症で病院に運  
ばれていきます。「あ  
すも太平洋高気圧に覆  
われて、朝から強い日  
差しが照り付けそうで  
す。予想最高気温を  
ご覧ください。東京、名  
古屋で44℃、大阪で43  
℃、北海道の札幌でも  
41℃と、記録的な暑さ  
が続きます。熱中  
症には、厳重な警戒が  
必要です。」「続いて、  
大雨情報です。東京に  
は強い寒気が入ってい  
て、大気の状態が不安  
定になっています。きよ  
うは、局地的に一時間  
に100ミリを超える、  
猛烈な雨が降ったところ  
がありました。大雨

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行(旧一般会員会費納入)

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: [office@asd-nsa.com](mailto:office@asd-nsa.com)

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

## 会員種別

◆会員一口1000円/月

◆特別会員一口1万円/月

◆法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名: シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げ  
ます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、  
ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけ  
ください。ホームページからも入手できます。

## お便り募集



マユタテアカネ

読者の皆様からのお便りを  
募集します。本紙記事へのご  
感想や提案、皆様個人やご  
家庭での歩み、あるいはグル  
ープや支部での活動と関連写  
真、イラストなどをお待ちしてい  
ます。宛て先は、事務局:

[office@asd-nsa.com](mailto:office@asd-nsa.com)

へお願いします。